

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
新東京歯科衛生士学校	昭和58年1月19日	福原 達郎	〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2200																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人 東京滋慶学園	昭和61年2月1日	中村 道雄	〒143-0016 東京都大田区大森北一丁目18番2号 (電話) 03-3763-2200																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
医療	歯科衛生士 専門課程	歯科衛生士科 I 部	平成25年文部科学省 告示第二号																				
学科の目的	社会人基礎力とコミュニケーション力を兼ね備え、歯科医療チームの一員として活躍できる歯科衛生士となる。																						
認定年月日	平成28年 2月19日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
3	昼間	2,490	1,125	465	900	0	0																
単位時間																							
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
240人	255人	10人	7人	56人	63人																		
学期制度	■1期:4月上旬～6月下旬 ■2期:6月下旬～9月下旬 ■3期:9月下旬～11月下旬 ■4期:11月下旬～3月下旬		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学業成績は、授業科目ごとに行う試験(筆記試験、実技試験等)によって評価される。 その評価はA(90～100点)、B(80～89点)、C(70～79点)、D(60～69点)、F(59点以下・不合格)、E(受験資格喪失)で行い、D以上で合格とする。																			
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏季:8月の3週間 ■冬季:12月下旬～翌年1月の2週間 ■春季:3月の3週間		卒業・進級条件	■1つの学期ごとに全科目A～Dまでの評価を得た者。 ■卒業時まで全科目を履修し、学年ごとに必修単位数を取得し、学校長が適当と認めた者																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任から家庭への定期的な電話連絡の他に、必要に応じて、個人面談、三者面談を実施する。		課外活動	■課外活動の種類 特になし  ■サークル活動: 無																			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(平成30年度卒業生) 歯科診療所、大学歯科総合病院、 ■就職指導内容 就職講座内で人事採用ご担当者を招き、情報提供に努めている。 ■卒業生数 77 人 ■就職希望者数 73 人 ■就職者数 73 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 94.8 % ■その他 アルバイト契約(非正規雇用)にて就業 4名 (令和元年度卒業生に関する 令和2年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歯科衛生士免許</td> <td>②</td> <td>77人</td> <td>75人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	歯科衛生士免許	②	77人	75人								
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																				
歯科衛生士免許	②	77人	75人																				
中途退学の現状	■中途退学者 8 名 令和2年4月1日時点において、在学者253名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者245名(令和3年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 目的喪失、病気、進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 電話連絡・個人面談・三者面談実施及びSSC(学校カウンセラー)との連携強化		中退率	3.1%																			
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(入学前の成績優秀者への学費減免)・スカラシップ制度(在校生向け学校独自指標優秀者への学費減免) ・被災罹災者学費減免 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象																						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																						
当該学科のホームページURL	<a href="https://www.dh.ntdent.ac.jp/department/general/">URL:https://www.dh.ntdent.ac.jp/department/general/</a>																						

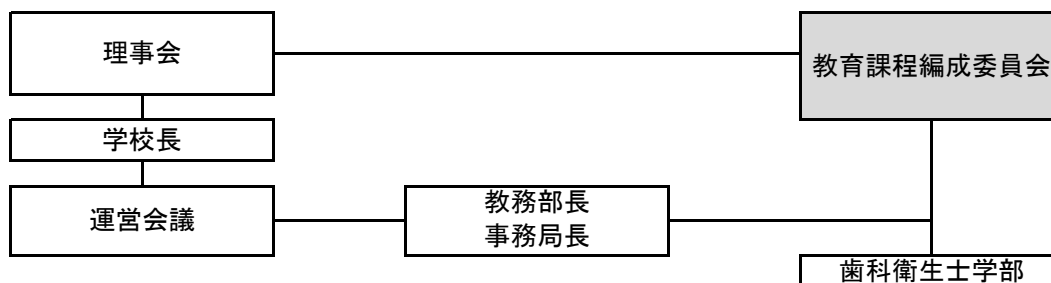
1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育課程の編成において、業界が求める人材要件(知識・技術・人間性等)を明確にし、必要となる最新の知識・技術を反映するため、企業・業界団体等の意見を活かし、教育課程の改善及び改訂を定期的実施することを目的とする。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、教育課程を決定する「理事会」の直下に位置付けられ、教育課程編成委員会で出された意見は、運営会議にて改善案を起案し、理事会において審議され教科課程へ反映される。



(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
小池 軍平	一般社団法人 日本デジタル歯科学会	2020年4月1日～2022年3月31日	①②
末光 妙子	医療法人財団 匡仁会	2020年4月1日～2022年3月31日	③
細野 純	細野歯科クリニック	2020年4月1日～2022年3月31日	③
小川 昭久	学校法人 東京滋慶学園 本部長・評議員	2020年4月1日～2022年3月31日	
福原 達郎	新東京歯科衛生士学校 学校長	2020年4月1日～2022年3月31日	
三觜 雅子	新東京歯科衛生士学校 副学校長	2020年4月1日～2022年3月31日	
関口 崇之	新東京歯科衛生士学校 事務局長	2020年4月1日～2022年3月31日	
今井 リカ	新東京歯科衛生士学校 教務部長	2020年4月1日～2022年3月31日	
大原 良子	新東京歯科衛生士学校 I部学科長	2020年4月1日～2022年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回 5月 11月

(開催日時)

2021年度	2020年度
第1回 2021年6月29日 18:00～20:00	第1回 2020年6月30日 18:00～20:00
第2回 2021年11月30日 開催予定	第2回 2020年11月24日 18:00～20:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

①「コミュニケーションスキルアップ検定」の授業内容を見直し、実践を交えながらでロールプレイングを行いコミュニケーション力を向上させる授業を実施。

②希望者の選択制のゼミを継続。

各ゼミではその分野のスペシャリストを講師として招き、幅広い知識、実践を学べるカリキュラムになるように見直しを行った。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

在学中に、様々な臨地・臨床実習で、歯科衛生士の働き方を知ることにより、卒業後の進路決定や将来像の参考になるような機会とする。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

臨地・臨床実習先より評価表を提出して頂き、最終評価に反映している。また、キャリア教育の一環で業界で活躍する卒業生や歯科医師より、将来像を明確にすることを目的とした動機付け教育にご協力頂いている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
臨地実習Ⅰ	・主として見学を中心とした実習とし、臨床現場における歯科診療の流れを理解しチェアサイドアシスタントワークが出来るようになる。	西堀歯科医院、サイトウ歯科医院、他106件
臨地実習Ⅱ	・各症例に合わせたアシスタントワークが出来るようになる。 ・実習指導者の指示のもと安全に配慮した歯石除去、歯面研磨、う蝕予防処置が出来るようになる。 ・スタッフと連携して協同動作、治療内容に応じた行動が出来るようになる。	
臨地実習Ⅲ	・業務記録の記述が出来るようになる。 ・各症例に適した患者対応・指導が出来るようになる。	
実習指導教育Ⅰ	・臨地実習に臨む為の身構え・気構え・心構えと実践力を身につける。	(株)ジーシー、(株)ヨシダ、(株)松風、松尾歯科医院 他
実習指導教育Ⅱ		

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界と連携し、学会発表のための共同研究や企業主催の研修に積極的に参加する。  
学部長、学科長中心に年間の研修を企画し、上記の研究成果や研修で得られた知識を学内で共有する。

#### ※教員研修規程からの抜粋

第2条 研修は、教員の授業内容・方法及びクラス運営方法を改善し向上させるとともに、マネジメント能力を含む指導力の習得、向上させるために行う。

第4条 法人本部並びに学校は、教員の研修計画を策定、実施し、教員に研修を受ける機会を与えなければならない。

2 法人本部または学校が必要と認めるとき、他の機関と共同または委託し、研修を行うことができる。

第6条 教員は、日常の勤務を通し必要な研修を受けるものとする。

2 日常勤務を通した研修は、教員の監督者がその計画を策定、実施する。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

#### 【研修名 口腔内スキャナ 活用法】

対象: 専任教員

主催: 小池歯科医院

内容: 口腔内スキャナを用いた歯科衛生士による初診検査、及び活用法

期間: 2021年5月29日(土)17:00~18:00

※2020年度に参加を予定していた専門分野における研修はコロナの影響のためすべて中止となった。

##### ② 指導力の修得・向上のための研修等

#### 【コロナ禍を乗り越えるスクールリーダーシップ～いかに学びを継続させるか～】

対象: 中学校・高等学校・大学教職員および教育関係者等

主催: 公益財団法人 電通育英会

演者: 溝上慎一(学校法人桐蔭学園理事長/桐蔭横浜大学 学長・教授)、中原淳(立教大学経営学部教授)

内容: リーダーシップについて講義とグループワーク。

期間: 2020年8月15日~8月16日

教育改革、学生指導、育成など教育に活かしていく。

#### 【国家試験対策研修会】

対象: 専任教員

主催: 滋慶学園グループ 国家試験対策センター(動画視聴型)

内容: 医療・福祉系国家試験の問題傾向と合格対策について、報告と事例発表など

期間: 2020年8月31日

国家試験の最新の結果と問題傾向を検証結果を情報収集し、国家試験全員合格に向けての対策を検討する際の参考にする。

#### 【マネジメント研修】

対象: 学科長

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: マネジメント教育について

期間: 2020年10月20日

Withコロナ・Afterコロナ時代におけるマネジメントについて参考にし、教育に活かす。

#### 【キャリア教育カウンセラー研修】

対象: 専任教員

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: キャリア教育についてのディスカッションやグループワークなど。

期間: 2020年11月25日

【FDミドルレベル研修】

対象:学科長

主催:滋慶教育科学研究所

内容:カリキュラムマネジメントについて手法、コーチングスキルなど。

期間:2020年12月2日

カリキュラムマネジメントの基礎を学び、自学科のカリキュラム開発の課題発見ができるようにする。

【対話の広場 第6回「そもそも対話を考えよう!」】

対象:中学校・高等学校・大学教職員および教育関係者等

主催:河合塾JCERI

演者:山辺恵理子(都留文科大学国際教育学科講師)、溝上慎一(学校法人桐蔭学園理事長/桐蔭横浜大学 学長・教授)、  
中原淳(立教大学経営学部教授)

内容:対話を取り入れた授業づくりのポイントやディスカッション、グループワークなど。

期間:2021年3月14日

コミュニケーションの向上など、キャリア教育に活かしていく。

【特別講義:予防歯科・超高齢化社会・アフターコロナを見据えた歯科技工士の働き方改革と人材育成の展望】

対象:教務部長、学科長

主催:全国歯科技工士教育協議会(演者 明倫短期大学教授、同大学附属診療所診療所長 小暮ミカ)

内容:新型コロナウイルス感染症拡大の影響により歯科技工士の働き方の変革を余儀なくされた今、どのような人材を  
育成すべきか。

期間:2021年5月15日

今後の人材育成の観点から、医療職としてのやりがいを感じられるカリキュラムを構築していくための参考とする。

【FDマイクロレベル(フォローアップ)研修】

対象:専任教員

主催:滋慶教育科学研究所

内容:授業リフレクションの進め方。コーチングスキルを用いた事例検討。

期間:2021年6月22日

授業の振り返りを行い、授業改善の工夫に活かす。またコーチングの基礎を学びクラス運営に活かす。

【セレクト研修①フィードバック研修】

対象:専任教員

主催:滋慶教育科学研究所

演者:株式会社 リクルートマネジメントソリューションズ 村野 秀二

内容:フィードバック体験の振り返りやディスカッションなど。

期間:2021年7月1日

「フィードバック」に関する基本スキル・実践でのポイント・臨む心構えを学び、部下や後輩の人材育成に活かす。

【<学科長対象>FDマイクロレベル研修】

対象:学科長

主催:滋慶教育科学研究所

### (3) 研修等の計画

#### ①専攻分野における実務に関する研修等

##### 【全国歯科衛生士教育協議会 講習会】

対象: 専任教員

主催: 全国歯科衛生士教育協議会主催

内容: 国家試験全員合格を目指す方略

期間: 2021年8月7日(土)11:00~12:00

##### 【歯科衛生士専任教員研修会 I・Ⅲ】

対象: 専任教員

主催: 全国歯科衛生士教育協議会主催

内容: 国家試験全員合格を目指す方略

期間: 2021年8月23日(月)~8月27日(金)9:00~17:50

##### 【第26・27回 合同学術大会 日本摂食嚥下リハビリテーション学会(名古屋)】

対象: 専任教員

主催: 日本摂食嚥下リハビリテーション学会事務局

内容: "食べる"が繋がる/ Connect "Eat"

期間: 2021年8月19日(木)~21日(土)

##### 【第12回日本歯科衛生教育学会学術大会】

対象: 専任教員

主催: 日本歯科衛生教育学会

内容: 北海道! でっかいどう! 多様化する社会を見据えた歯科衛生教育

期間: 2021年12月17日(金)~24日(金)

##### 【第31回歯科保健医療国際協力協議会(JAICOH)総会および学術集会】

対象: 専任教員

主催: 歯科保健医療国際協力協議会 JAICOH

#### ②指導力の修得・向上のための研修等

##### 【FDミドルレベル研修】

対象: 学科長以上

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: カリキュラムマネジメントについて手法、コーチングスキルなど。

期間: 2021年7月14日(水)

##### 【教職員カウンセリング研修】

対象: 専任教員

主催: 滋慶科学教育研究所

内容: カウンセリングマインドを身につけて、学生や保護者に対応できるようにスキル向上する。

期間: 8月2日~9月7日

##### 【Teams研修】

対象: DX推進委員

主催: 滋慶教育科学研究所

内容: Teamsの使い方、運営方法、活用事例など。

期間: 9月以降

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、各校に学校関係者評価委員会を置く。評価委員会は、自己点検・評価結果の客観性・透明性を高め、学校の利害関係者の学校運営への理解促進や連携協力による学校運営の改善を目的とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の受入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

今回の学校関係者評価結果ならびに委員会での意見については、理事会や学内の運営会議などの意思決定機関にフィードバックされ、翌年度における重点課題への反映及び、具体的な取り組みに落とし込んでいく。とりわけ、2021年度の学校関係者評価並びに委員の意見を踏まえ、昨今のコロナ禍に象徴されるような、感染状況により学習方法を柔軟に変更することが求められた際に、業界の求める知識・技術をはじめ、本来 臨地・臨床実習などの学外実習で身につくような現場対応力やコミュニケーション力についても学内実習で習得できるような、多様性のある学習方法を開発・実践することで、より質の高い教育への改善を図る。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
渡部 みゆき	医療法人社団正翔会 横須賀歯科医院	2020年4月1日～2022年3月31日	卒業生
澤田 弥美	歯科衛生士科 I 部 在校生の保護者	2020年4月1日～2022年3月31日	保護者
森 章	拓殖大学紅陵高等学校	2020年4月1日～2022年3月31日	高等学校
中島 穰	公益社団法人 東京都大田区大森歯科医師会	2020年4月1日～2022年3月31日	地域等委員
富田 基子	公益社団法人 東京都歯科衛生士会	2020年4月1日～2022年3月31日	業界等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:<https://www.dh.ntdent.ac.jp/information/>

令和2年7月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

歯科業界の動向や最新の技術について情報提供していただき、カリキュラムの見直しを図る。  
また、学生の進路決定や将来の目標設定させる際の参考とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2) 各学科等の教育	各学科等の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生の生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	学校評価
(10) 国際連携の状況	国際連携の状況
(11) その他	その他

※(10)及び(11)については任意記載。

URL:<https://www.dh.ntdent.ac.jp/information/>



## 授業科目等の概要

(歯科衛生士専門課程 歯科衛生士学科 I 部) 2021年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			基礎生物学 Biology	人体機能の基本知識を修得し、患者の疾病予防を目指した行動ができる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			基礎化学 Chemistry	化学の知識・技能を修得し、歯科衛生士の実務に応用できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			歯科英語 Dental English	基本的な英語力を身につけ、英語でコミュニケーションが図れる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			国語表現法 Usage of Japanese Expressions	基本的な文章力を身につけ、感想と考察の違いを学び、表現できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			医療倫理 Medical Ethics	医の倫理の原則を学び、倫理的判断に基づいた行動が取れる。	1・後	15	1	○			○			○	
○			コンピュータ基礎 Computer Basics	コンピュータの基礎的な操作、Word・Excel・PowerPointの使用方法を修得し、操作できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			カウンセリング学 Counseling	心の健康を健全な状態にできるコミュニケーションを学び、カウンセリングを実践できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			コミュニケーションスキル アップ検定 Certificate for Communication Skill up	社会人として必要なコミュニケーションスキルを身につけ、コミュニケーションスキルアップ検定に合格できる。	1・前	30	2	○			○			○	
○			手話 Sign Language	コミュニケーション方法の一つとして手話の基本技術を修得できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			解剖学 Anatomy	人体の支持、骨・筋の形態、血管の分布や内臓各器官の構造と動きを理解し、歯科臨床に応用できる。	1・前	30	2	○			○			○	
○			生理学 Physiology	生体の様々な臓器や器官の働きと機能、構造について理解し、歯科臨床に応用できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			生化学 Biochemistry	主要な生化学的变化について学び、歯科保健指導に応用できる。	1・前	15	1	○			○			○	
○			口腔解剖学 Oral Anatomy	顎・顔面・口腔領域の組織や器官の構造と機能について学び、歯科臨床に応用できる。	1・前	30	2	○			○			○	
○			歯牙解剖学 (組織発生学含む) Dental Anatomy	組織・発生学の概要を学び、歯および歯列の役割を理解し、歯科臨床に応用できる。	1・後	30	2	○			○			○	

○		口腔生理学 Oral Physiology	口腔領域の様々な器官の働きと機能、構造について理解し、歯科臨床に応用できる。	1・前	15	1	○			○			○
○		病理学・口腔病理学 Pathology・Oral Pathology	疾病についての基本的事項を理解し、口腔領域の様々な組織に発生した病変について学び、歯科臨床に応用できる。	1・後	15	1	○			○			○
○		薬理学・歯科薬理学 Pharmacology・Dentistry Pharmacology	歯科医療で使用する薬剤や全身疾患の治療薬を知り、身体における薬の働きを学び、歯科臨床に応用できる。	1・後	30	2	○			○			○
○		隣接医学 Adjacent Medical Discipline	歯科診療に関連する内科疾患の知識を修得できる。	1・後	15	1	○			○			○
○		微生物学・口腔微生物学 Microbiology・Oral Pathology	細菌やウイルスに対する知識を学び、感染予防対策を修得し、歯科臨床に応用できる。	1・前	15	1	○			○			○
○		栄養学 Nutrition	栄養素の消化、吸収、栄養所要量、代謝について学び、歯科保健指導に応用できる。	1・後	15	1	○			○			○
○		口腔衛生学Ⅰ Oral Hygiene StudyⅠ	口腔の疾患の予防や、健康増進のため、幅広い分野の知識を修得し、歯科臨床に応用できる。	1・後	15	1	○			○			○
○		口腔衛生学Ⅱ Oral Hygiene StudyⅡ		2・前	30	2	○			○			○
○		衛生統計学 Hygiene Statistics	衛生統計の基礎知識と総計処理を学び、歯科臨床に応用できる。	1・後	15	1	○			○			○
○		衛生学・公衆衛生学 Hygienics・Public Health	人間の健康問題と取り巻く環境因子との相互関係を学び、歯科臨床に応用できる。	2・後	15	1	○			○			○
○		社会福祉論 Social Welfare Theory	日本の福祉の現状、介護保険制度について理解し、歯科衛生士の実務に応用できる。	1・後	15	1	○			○			○
○		衛生行政・社会福祉 Administration・Social Welfare Health	関係法規を学び社会保障、社会福祉、医療保険制度について学び、その判断に基づいた行動ができる。	2・後	15	1	○			○			○
○		歯科衛生学総論 Dental Hygienist Outline	歯科衛生士として、社会に果たすべき役割を十分理解し、歯科衛生士の実務に応用できる。	1・前	15	1	○			○			○
○		歯科臨床概論 Dentistry Clinical Pathology Outline	歯科診療、歯科疾患の概略と体系を学び、患者の疾病予防および疾病からの回復を目指す行動ができる。	1・後	15	1	○			○			○
○		保存修復学 Operative Dentistry	歯の硬組織に対する保存修復の原理と方法を学び、歯科臨床に応用できる。	2・前	15	1	○			○			○
○		歯内療法学 Endodontics	歯髄疾患や根尖歯周組織の疾患に対する予防および治療方法を学び、歯科臨床に応用できる。	2・前	15	1	○			○			○
○		歯周治療学 Periodontics	歯周病の原因や進行のメカニズム、適切な予防と治療法を学び、歯科臨床に応用できる。	2・前	15	1	○			○			○



○			歯科診療補助論Ⅳ Dental Examination Assistance TheoryⅣ		2・前	30	2	○	○	○	○	○	○	○
○			歯科放射線学 Dental Radiology	歯科におけるエックス線について学び、歯科臨床に応用できる。	2・前	15	1	○		○			○	
○			臨床実習Ⅰ Clinical PracticeⅠ	実際の臨床現場で今までの学習を総合的にとらえ、歯科臨床に応用できる。	2・後	##	6			○		○		○
○			臨床実習Ⅱ Clinical PracticeⅡ		3・前	##	8			○		○		○
○			臨床実習Ⅲ Clinical PracticeⅢ		3・前	##	6			○		○		○
○			歯科衛生士総合講座Ⅰ Comprehensive Studies for Dental HygienistsⅠ	歯科衛生士として総合的な基礎力、応用力を修得し国家試験に合格できる。	3・後	30	2	○			○		○	○
○			歯科衛生士総合講座Ⅱ Comprehensive Studies for Dental HygienistsⅡ		3・後	30	2	○			○		○	○
○			歯科衛生士総合講座Ⅲ Comprehensive Studies for Dental HygienistsⅢ		3・後	30	2	○			○		○	○
○			キャリアデザイン Career Education	職業人として必要な基礎力と自分で行動する力を身につけ、歯科衛生士の実務に応用できる。	1・前	15	1	○			○		○	○
○			病理学・口腔病理学 基礎 Basic Pathology・Oral Pathology	基本的な病変の分類と代表的な疾病の肉眼的・組織的な特徴を理解し、歯科臨床に応用できる。	1・後	15	1	○			○			○
○			微生物学・口腔微生物学 基礎 Basic Microbiology・Oral Pathology	細菌やウイルスに対する知識を学び、歯科衛生士における清潔の概念や感染症について理解し、歯科臨床に応用できる。	1・前	15	1	○			○			○
○			口腔衛生学 基礎 Basic Oral Hygiene Study	口腔の疾患の予防や、健康保持・増進の意義を理解し、口腔保健を向上させるために必要な知識と技術を修得できる。	1・後	15	1	○			○			○
○			衛生学・公衆衛生学 基礎 Basic Hygienics・Public Health	衛生学・公衆衛生学の意義、健康・予防医学の概念について理解し、歯科臨床に応用できる。	2・後	15	1	○			○			○
○			衛生行政・社会福祉 基礎 Basic Administration・Social Welfare Health	関係法規を学び社会保障、社会福祉、医療保険制度について学び、その判断に基づいた行動ができる。	2・後	15	1	○			○			○
○			歯科補綴学 基礎 Basic Dentistry Prostodontics	歯科補綴治療の流れ、種類を学び、歯科臨床に応用できる。	2・前	15	1	○			○			○
○			口腔外科学 基礎 Basic Maxillofacial Surgery	口腔外科疾患の原因、主要症状、治療法や歯科麻酔に関する知識を学び、歯科臨床に応用できる。	2・前	15	1	○			○			○
○			歯科矯正学 基礎 Basic Orthodontics	矯正学の基本的事項、治療の流れを学び修得する。	2・前	15	1	○			○			○

○		小児・障がい者学 基礎 Basic Pedodontics・ Handicapped Person Dentistry	発育期にある小児、障がい者の歯科医療、口腔健康管理を学び修得する。	2・前	15	1	○			○												
○		歯科予防処置論 基礎 I Basic Dentistry Prevention Measures Theory I	歯科衛生士として歯科予防処置(歯および口腔の疾患を予防して健康な状態を維持・増進するために必要な処置)の知識、技術を修得する。	1・前	30	2	○	○		○			○	○								
○		歯科予防処置論 基礎 II Basic Dentistry Prevention Measures Theory II		1・前	30	2	○	○		○			○	○								
○		歯科保健指導論 基礎 Basic Dentistry Health Guidance Theory	各集団、年齢に合わせた口腔保健管理ができるよう、口腔清掃法、コミュニケーション法、指導法を修得する。	1・前	30	2	○			○			○	○								
○		口腔衛生管理 Oral Cavity Care Technology	歯科衛生士が行なう口腔衛生管理の維持向上の重要性を理解する事ができる。	2・後	15	1	○			○												
○		口腔機能管理 基礎 Basic Oral rehabilitation and functional	摂食嚥下機能障害について理解し、訓練法を修得する。	3・前	15	1	○			○												
○		歯科診療補助論 基礎 I Basic Dental Examination Assistance Theory I	歯科治療の流れ、器具器材、薬品について知識・技術を修得する。	1・前	30	2	○	○		○			○	○								
○		歯科診療補助論 基礎 II Basic Dental Examination Assistance Theory II		1・前	30	2	○	○		○			○	○								
○		歯科材料学 Dental Material Science	歯科領域で 사용되는歯科材料の種類、成分、性状などについて学び、物性を発揮できる取り扱いができる。	1・後	15	1	○			○												
○		インプラントアシスタントワーク Implant Assistant Work	インプラント治療の流れを理解し、適切なチェアサイドアシスタントワークができる。	3・前	15	1	○			○												
○		実習指導教育 I Clinical Practice Training I	臨地実習に臨む為の身構え・気構え・心構えと実践力を身につけ、歯科臨床に応用できる。	2・前	30	2	○	○		○			○	○								
○		実習指導教育 II Clinical Practice Training II		3・前	15	1	○	○		○			○	○								
○		歯科衛生士総合講座 基礎 I Basic Comprehensive Studies for Dental Hygienists I	歯科衛生士として総合的な基礎力を修得し国家試験に合格できる。	1・後	15	1	○			○												
○		歯科衛生士総合講座 基礎 II Basic Comprehensive Studies for Dental Hygienists II		2・後	15	1	○			○												
○		歯科衛生士総合講座 基礎 III Basic Comprehensive Studies for Dental Hygienists III		3・前	30	2	○			○			○	○								
○		歯科衛生士総合講座 基礎 IV Basic Comprehensive Studies for Dental Hygienists IV		3・前	30	2	○			○			○	○								
○		就職講座 Occupation Orientation	就職活動に必要な履歴書の書き方、面接対策など基本知識を学び、実践できる。	3・前	15	1	○			○			○	○								

		○	国際教育 International Education	海外研修を通して異文化の理解、自己発信、コミュニケーション力を身に付け、国際的視野で理解する素質を修得することができる。	2・前	15	1		○		○		○	○
		○	歯科衛生士総合講座Ⅳ Comprehensive Studies for Dental HygienistsⅣ	歯科衛生士として総合的な基礎力、応用力を修得し国家試験に合格できる。	3・後	15	1	○			○		○	○
合計					84科目			2,520単位時間(1289単位)						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学年ごとに必須単位数を修得し進級する。 全科目履修で卒業となる。		1 学年の学期区分	前期・後期
		1 学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。